

XII 沼津市環境マネジメントシステムの推進

1 沼津市環境マネジメントシステムの概要

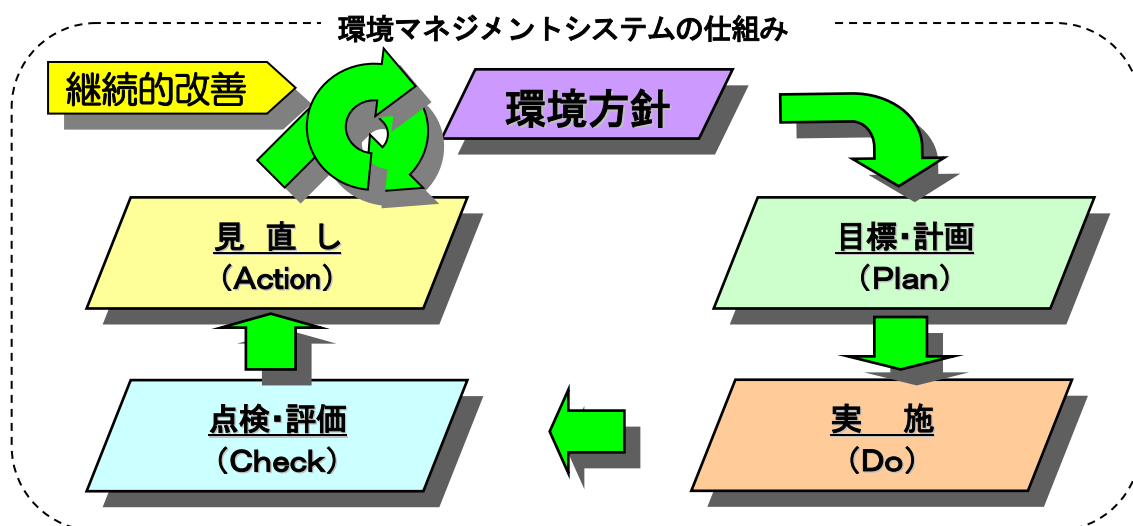
市では、平成 12 年 2 月に ISO14001 の認証登録を行ってから適用範囲を水道部や消防、学校、病院と徐々に拡大し、環境配慮行動や省エネ活動に取り組んできた。

一方、平成 22 年度から「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（省エネ法）の改正により、市も特定事業者として施設のエネルギー管理が義務付けられ、年平均 1 % 以上のエネルギー消費原単位の低減が求められている。また、平成 22 年度に策定した「沼津市環境基本計画」や平成 23 年度に策定した「沼津市地球温暖化対策実行計画」の効果的な進行管理が必要となっている。

このことから、市では、これまでの ISO14001 の運用により得られたノウハウを活かすとともに、事務の合理化・効率化を図るため、平成 24 年 2 月の更新期限をもって ISO14001 の認証登録を返上し、平成 24 年度から省エネ法に基づくエネルギー管理や、環境基本計画や地球温暖化対策実行計画に基づく各種環境施策の進捗を一元的な管理を目的とした沼津市独自の環境マネジメントシステムに移行した。

《沼津市環境マネジメントシステムの取り組み》

- ① 省エネ法に基づくエネルギー使用量の削減・管理
- ② 「沼津市環境基本計画」に位置づけられた施策の進行管理
- ③ 「沼津市地球温暖化対策実行計画」に位置づけられた施策の進行管理
- ④ 環境負荷の低減（紙使用量の削減、廃棄物の減量・再資源化等）
- ⑤ 沼津市グリーン購入に係る基本方針に基づくグリーン購入の推進
- ⑥ 環境法令の順守

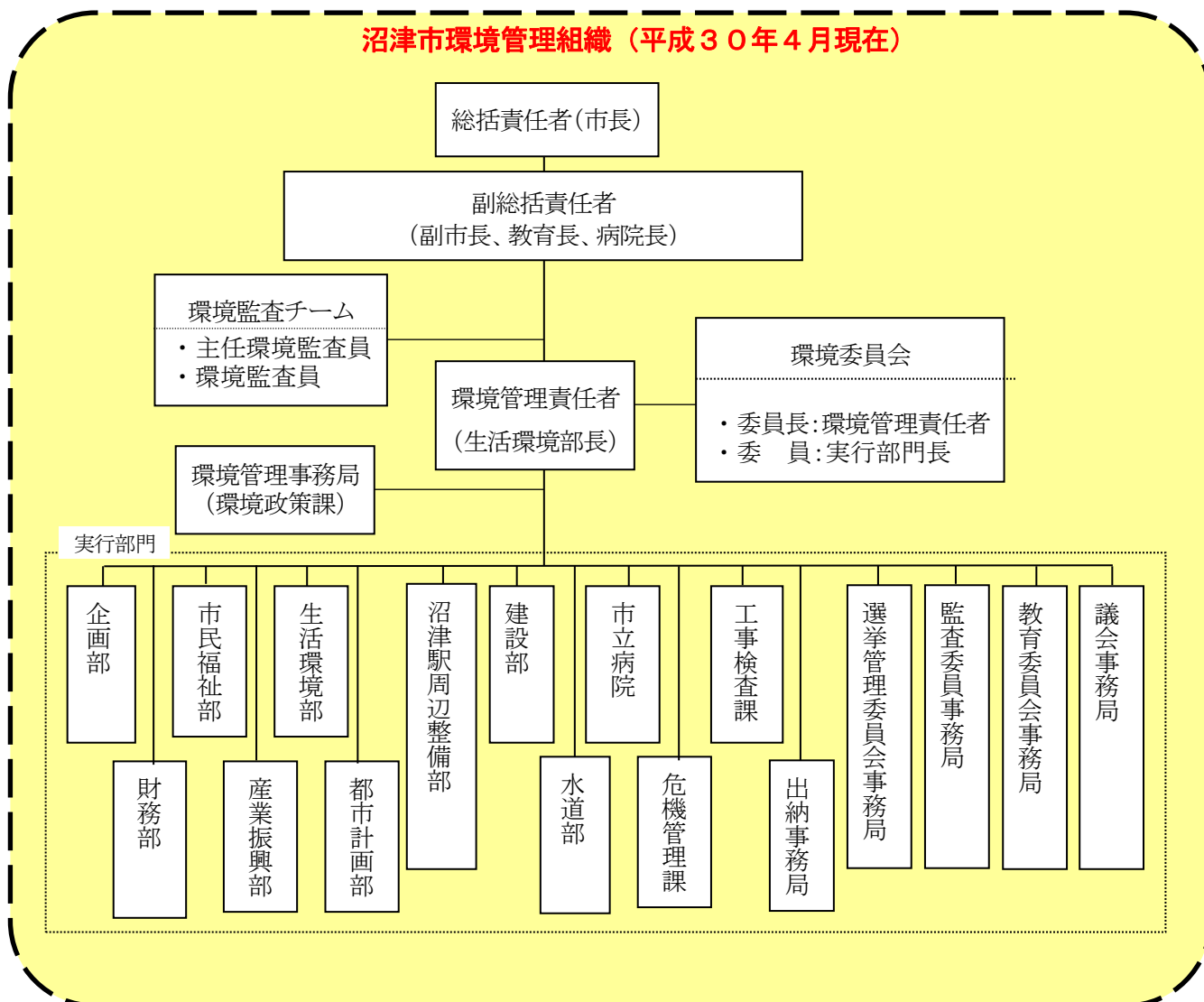


2 推進体制

市では、本システムを効果的かつ確実な実施、運用を図るため、環境管理組織及び実行部門を設置している。（組織図は次ページのとおり）

環境管理組織は、総括責任者（市長）、副総括責任者（副市長、教育長、病院長）、環境管理責任者、環境委員会、環境管理事務局、環境監査チームで構成し、実行部門に、実行部門長、環境推進員、環境実行人を置き、表紙裏に記載の「環境方針」に基づき環境活動を進めている。

沼津市環境管理組織（平成30年4月現在）



3 主な年間スケジュール

時期	実施内容等	
4～5月	点検・評価結果報告（前年度下半期分） 現年度取組項目及び目標の決定	… Check … Plan
8～9月	内部監査	… Check
10月	点検・評価結果報告（上半期分）	… Check
1月	外部監査	… Check
3月	市長見直し	… Action
随時	教育研修（年1回以上） 緊急事態対応訓練（年1回以上）	… Do … Do

4 職員に対する教育研修の実施

市では本システムに対する自覚及び環境知識、技能の向上を図るためにに関する全職員等を対象に教育研修を実施している。

研修名	対象者	内 容	研修 責任者	実施時期
基本 研修	環境実行員	・本システムに関する知識及び実施・運用能力 ・環境目的・目標・マネジメントプログラムの設定他	環境管理 責任者	4月、5月
	新規採用職員	・地球環境問題の現状 ・環境マネジメントシステムの基礎知識他	環境管理 責任者	4月、9月
	全職員等	・環境目的・目標に適合するための役割及び責任 ・緊急事態に対応するための役割及び責任他	環境 推進員	6～9月
緊急事態 対応訓練	緊急事態対応訓練 の必要な職員等	・緊急事態に対応するための役割及び責任他	環境 推進員	6～9月

5 内部監査・外部監査の実施

市では、本システムが適切に実施・運用されているかを判定するために全実行部門を対象に内部監査を、また、専門的かつ客観的な評価を行うために抽出部門を対象に外部監査を実施している。

平成 30 年度内部監査結果

- 監査実施日：平成 30 年 8 月 6 日(月)
～9 月 7 日 (金)
- 監 査 対 象：全課等(所管施設含む)
- 環境監査員：環境監査員 69 人
- 監 査 結 果：適 合 68 部門
不適合事項 なし
注 意 事 項 なし

平成 30 年度外部監査結果

- 監査実施日：平成 31 年 1 月 29 日(火)、30 日(水)
- 監 査 対 象：環境管理事務局及び 8 課
- 環境監査員：外部環境監査員 2 人
- 監 査 結 果：システムの運用は適正に行われ、
行政施策および業務を実施するた
めに十分機能しているとの総評を受け
た。

6 環境目的・目標に対する実績

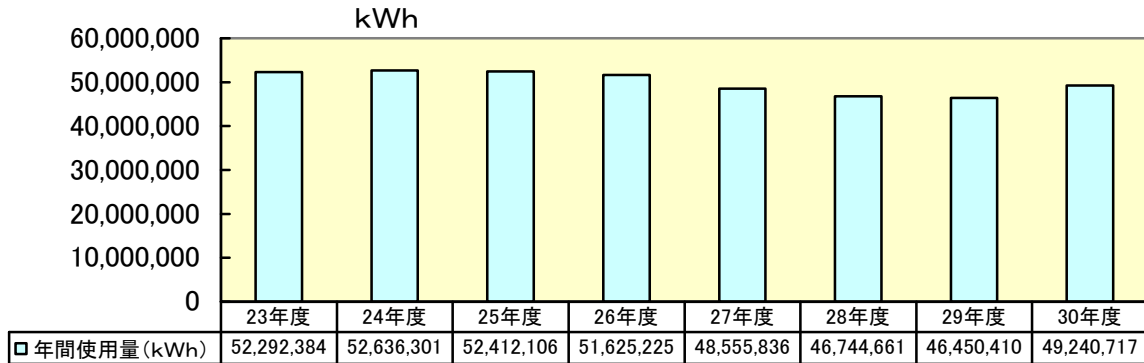
◎環境に配慮した事務事業の推進(省エネルギーの推進)

各項目で個別に目標を設定し、省エネに取り組んだ。目標及び達成状況は下表のとおり。

項目	場所	30年度目標設定	H30実績	H29実績	前年度比
電気	本庁	29年度実績値以下	1,256,552 kWh	1,370,109 kWh	109.04%
	施設	29年度実績値以下	36,794,275 kWh	33,909,962 kWh	92.16%
	学校	29年度実績値以下	5,090,342 kWh	4,976,210 kWh	97.76%
	市立病院	29年度実績値以下	6,099,548 kWh	6,099,548 kWh	100.00%
ガス	本庁	29年度実績値以下	29,980 m ³	41,379 m ³	138.02%
	施設	都市ガス29年度実績値以下	474,947 m ³	368,412 m ³	77.57%
		LPG 29年度実績値以下	37,486 m ³	41,249 m ³	110.04%
	学校	都市ガス29年度実績値以下	194,523 m ³	260,634 m ³	133.99%
		LPG 29年度実績値以下	34,470 m ³	36,894 m ³	107.03%
	市立病院	都市ガス29年度実績値以下	1,041,830 m ³	1,041,830 m ³	100.00%
灯油	施設	29年度実績値以下	91.83 kl	91.44 kl	99.58%
	学校	29年度実績値以下	1.07 kl	1.78 kl	166.36%
重油	施設	29年度実績値以下	24.86 kl	4.97 kl	19.99%
	市立病院	29年度実績値以下	48.34 kl	48.38 kl	100.08%
自動車燃料	本庁・施設	ガソリン 29年度実績値以下	87.34 kl	91.43 kl	104.68%
		軽油 29年度実績値以下	70.64 kl	79.51 kl	112.56%
	学校	ガソリン 29年度実績値以下	0.90 kl	0.74 kl	82.22%
	市立病院	ガソリン 29年度実績値以下	1.35 kl	1.51 kl	111.85%
事務用紙	本庁・施設	29年度実績値以下	46,448 kg	65,336 kg	140.66%
	学校	29年度実績値以下	31,051 kg	29,789 kg	95.94%
	市立病院	29年度実績値以下	19,819 kg	17,463 kg	88.11%
廃棄物	本庁・施設	29年度実績値以下	107,393 kg	116,951 kg	108.90%
	学校	29年度実績値以下	197,336 kg	213,924 kg	108.41%
	市立病院	29年度実績値以下	211,096 kg	194,789 kg	92.28%

電気使用量の推移

平成30年度の市有施設の電気使用量は49,240,717 kWhで、前年度と比較して、2,790,307 kWh (6.01%) 増加した。平成30年度は、観測史上最も暑い夏であったことから、冷房等による使用量の増加が背景にあると考えられる。健康等のリスクに配慮しながら、可能な範囲の中で節電に努める。

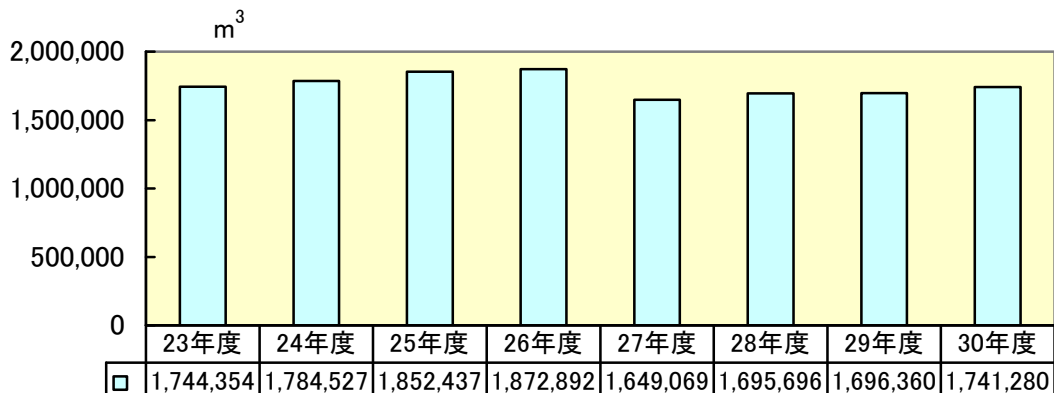


◎取り組み例

- ・冷暖房時の温度管理の徹底（冷房時設定温度28℃、暖房時室温20℃）
- ・就業前後、昼休みにおける消灯、不要箇所の消灯
- ・省エネタイプの機器・器具の導入

都市ガス使用量の推移

平成30年度の市有施設の都市ガス使用量は1,741,280 m³で、前年度と比較して、44,920 m³ (2.65%) 増加した。暖房機器の使用頻度増加に伴うものと考えられるため、削減に向け、ウォームビズの推進や室温管理の徹底等に努める。

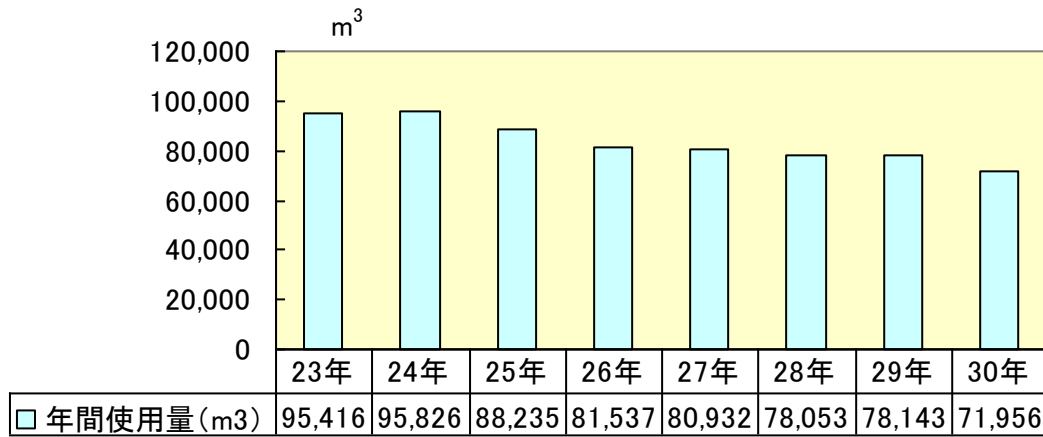


◎取り組み例

- ・暖房時の温度管理の徹底（室温20℃）
- ・ガス給湯器の適正利用

LPG使用量の推移

平成30年度の市有施設のLPG使用量は71,956 m³で、前年度と比較して、6,187 m³ (7.92%) 減少した。今後も削減に向け、ウォームビズの推進や室温管理の徹底等に努める。

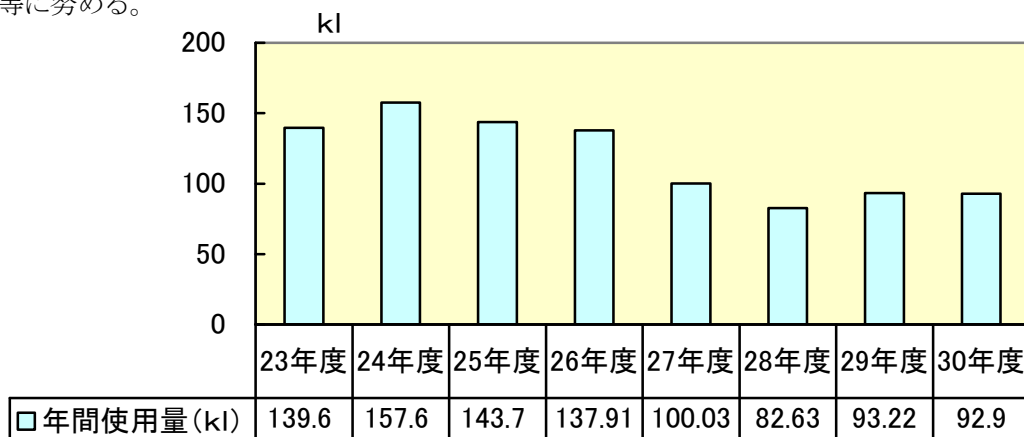


◎取り組み例

- ・暖房時の温度管理の徹底 (室温 20℃)
- ・ガス給湯器の適正利用

灯油使用量の推移

平成30年度の市有施設の灯油使用量は92.90 k lで、前年度と比較して、0.32 k l (0.34%) 減少した。今後も削減に向け、ウォームビズの推進や室温管理の徹底等に努める。

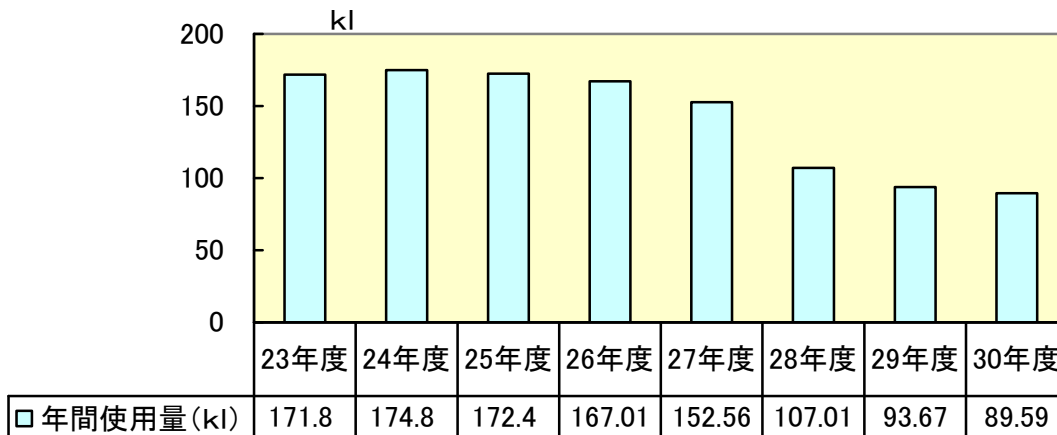


◎取り組み例

- ・暖房時の温度管理の徹底 (室温 20℃)

ガソリン使用量の推移

平成30年度のガソリン使用量は89.59klで、前年度と比較して、4.08kl (4.36%) 減少した。エコドライブの推進等によりさらなる削減を図る。
(平成28年度より、消防広域化に伴い、消防関連車両を対象外としている。)

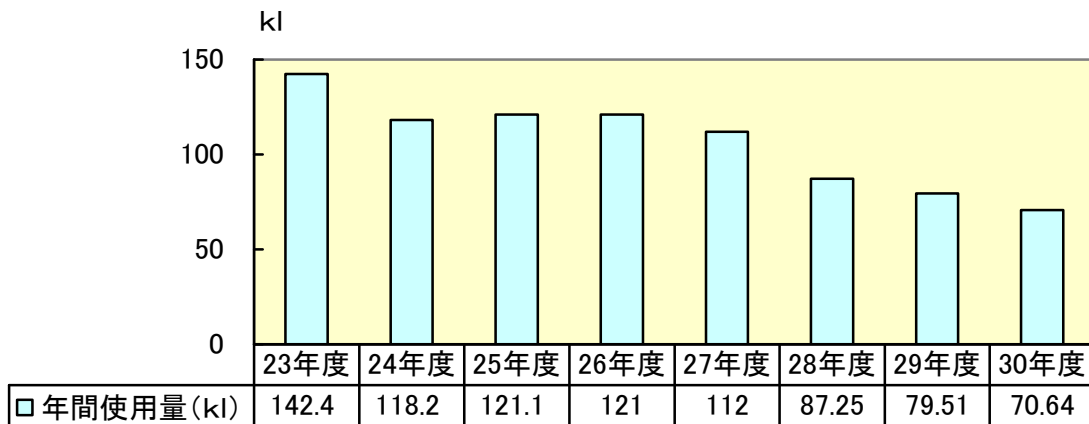


◎取り組み例

- ・アイドリングストップなどエコドライブの推進
- ・近距離での公用車使用の自粛
- ・省エネカー、軽自動車等の導入を図る

軽油使用量の推移

平成30年度の軽油使用量は70.64klで、前年度と比較して、8.87kl (11.16%) 減少した。引き続きエコドライブの推進に取り組む。
(平成28年度より、消防広域化に伴い、消防関連車両を対象外としている。)

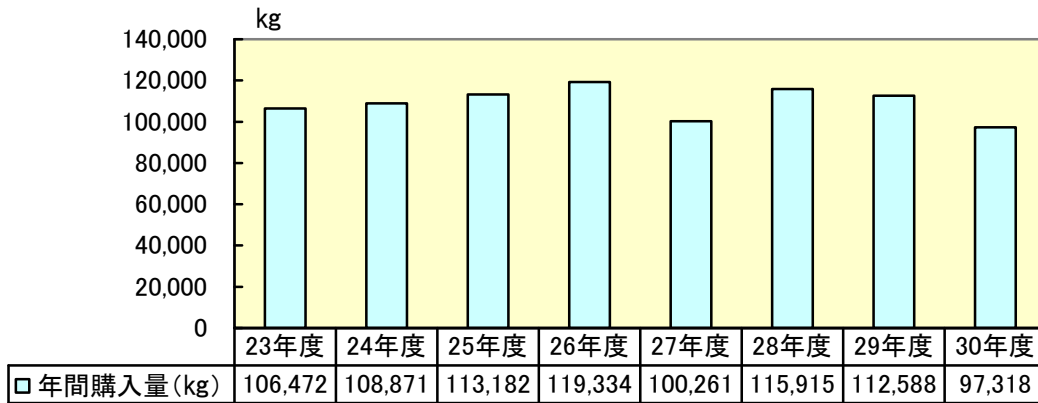


◎取り組み例

- ・アイドリングストップなどエコドライブの推進
- ・近距離での公用車使用の自粛

事務用紙購入量の推移

平成30年度の事務用紙購入量は97,318kgで、前年度と比較して、15,270kg (13.56%) 減少した。引き続き、使用量の削減に努める。

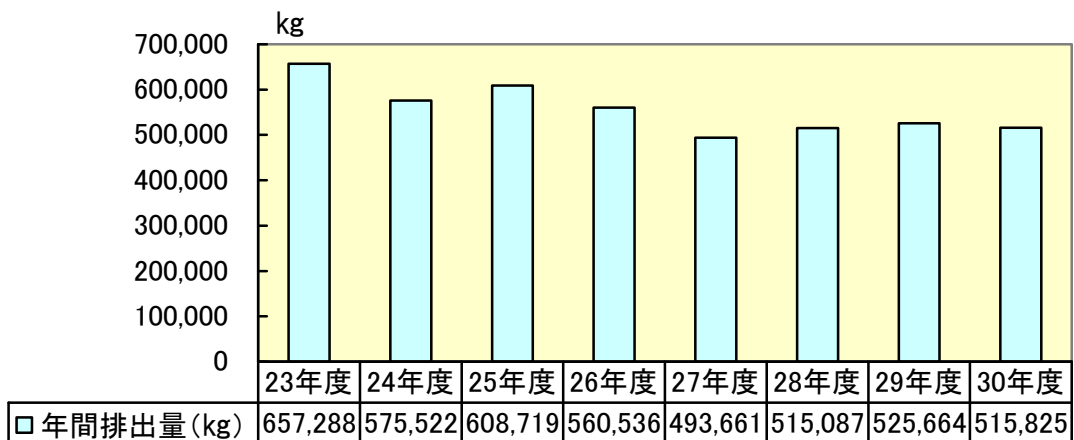


◎取り組み例

- ・両面印刷・両面コピーの徹底
- ・電子化によるペーパーレス化の推進
- ・文書の共有化の徹底
- ・片面コピー紙や、ミスコピー紙の裏面の使用推進

ごみ(一般廃棄物)排出量の推移

平成30年度の市有施設からの一般廃棄物排出量は515,825kgで、前年度と比較して、9,839kg (1.86%) 減少した。分別や再資源化の取り組みについて、徹底し、減量を図る。



◎取り組み例

- ・ごみの排出抑制や分別の徹底
- ・古紙回収、資源ごみの適正排出など、再資源化への取り組みを推進